

輝け！シン尾花沢中

第 97 号

令和 7 年

10 月 2 日

まちのさかえは 国の富 はたらくものの よろこびを

全国学力・学習状況調査の結果について②：国語

4 月 17 日（木）に行われた全国学力・学習状況調査の国語の分析結果を紹介します。
前号でも示したとおり、本校の国語の結果は「概ね平均」でした。

領域ごとにみると、「(I)言葉の特徴や使い方に関する事項」で県・全国平均を上回っており、成果と捉えています。

例えば、右の【ちらし】の下線部の漢字を交換する際〔1 会心 2 改心 3 改新〕の中から適切なものを選択する[1]一の問題〔正解は 1〕は全国を 3.0 ポイント上回りました。

【ちらし】

第一中学校 美術展



毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。

私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

また、事象や行為を表す語彙として「しきりと」の意味として〔1 寂しげに 2 改めて 3 何度も 4 注意深く〕の中から適切なものを選択する[3]三の問題〔正解は 3〕は全国を 7.5 ポイントも上回っています。

このように、言葉の特徴や使い方を正しく理解していることがうかがえます。

一方、「A 話すこと・聞くこと」の領域に加え、記述式の問題全てで県・全国平均を下回っており、課題と捉えています。

例えば、昨年の小学生の感想を基に、美術展のチラシを更新する[1]四の問題は、全国を 11.9 ポイント下回りました。

条件 1 今年の美術展の【工夫】の A、B から 1 つ選び（どちらを選んでもかまいません。）、それと結び付く小学生の【感想の一部】を A から U までの中から 1 つ選び、それぞれ塗りつぶすこと。

条件 2 条件 1 で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

指示された条件に基づいて、複数の情報を関連付けながら、接続語や指示語を適切に使って、自分の考えを書くことに課題があるようです。

リーディングスキルの「係り受け解析」や「照応解決」「推論」を念頭に置きながら、授業での指導はもちろん、リーディングスキルノートによる家庭学習で、課題解決を図っていく予定です。

【工夫】

- A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。
- B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

- A どうやってあんなすばらしい作品をつくったのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのが楽しみです。
- イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。
- ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

【文責：校長 工藤雅史】